

神戸大学統合拠点アネックス棟の新築落成披露並びに次世代バイオ医薬品製造技術研究組合のGMP施設開所式が、盛大に執り行われますことを心よりお祝い申し上げます。

抗体医薬を中心としたバイオ医薬品は、がんやリウマチなどの難病に対して、その顕著な薬効や、副作用が小さいというメリットから、近年大きな注目を集めております。我が国は化学や工学の分野で世界の最先端の技術力を誇っていますが、残念ながら、バイオ医薬品の分野では欧米から遅れを取っています。我が国発のバイオ医薬品が生まれた実績はわずかであり、その結果、近年は医薬品の貿易赤字が拡大しています。

こうした厳しい状況を踏まえて、日本製薬工業協会が我が国のバイオ医薬品に関する人材育成も含めた拠点整備の必要性を提言しました。この提言を踏まえて、29の企業や関係機関が、バイオ医薬品を製造する上流から下流までの全ての関係者が結集する技術研究組合を設立しました。

この研究開発プロジェクトは、製薬業界やアカデミアとの連携のみならず、医薬品の規制を担当する厚生労働省や国立医薬品食品衛生研究所等の協力も得て、まさに文字どおりオールジャパンでの連携体制となりました。経済産業省も支援しており、我が国におけるバイオ医薬品の製造技術開発やオープンイノベーションの推進の観点から極めて重要です。

また、神戸大学によって、神戸ポートアイランドに神戸大学統合拠点アネックス棟が新設されました。ここにバイオ医薬品製造技術の研究開発と人材育成の両輪を実現する新たなオープンイノベーションのプラットフォームが完成したのです。

いよいよ本格的な研究開発が始まります。この拠点においては、研究組合のものづくり関連企業ばかりではなく、製薬業界を中心としたユーザー業界の若手技術者も参加しています。優れたバイオ医薬品の市場化が加速するだけでなく、我が国の叡智を結集した先端的な技術をマスターした優秀な人材が次々に輩出されることも期待しています。

重篤な疾患で苦しむ全世界の患者さんのもとに、我が国で開発・製造された高品質な抗体医薬品が速やかに提供され、Japan Quality・Japan Brandの素晴らしさが全人類に周知される日の一日も早いことを心より願いたしましてメッセージとさせていただきます。

経済産業大臣 宮沢 洋一